

緑陵 PTA

第 87 号



発行者
北海道岩見沢緑陵高等学校PTA
平成23年5月26日 発行

URL <http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/ryokuryo/>
mail ryokury2@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp



PTA活動とは



PTA会長

池田 明博

四月八日新入生二七八名を迎え、また今年度は校長先生、教頭先生と六名の先生を新しく迎え緑陵高校の新年度が始まりました。

PTAの役員も、米川会長、中嶋副会長、飯川監査委員が勇退され、新たに一年生の副会長として坂田ひとみさん、二年生の副会長の本田勝彦さん、一年生の監査委員の平井文朗さん、そして三年生の副会長にはベテランの佐々木明美さんで、無事新役員も決まりスタートを切る事ができました。

さて、新年度を迎え、PTA活動とは何か自分なりに考えてみました。結論から言うとPTAは、子供たちの応援団でありたい。また、いかにして勉強や部活のしやすい環境を作ってあげられるか、そして楽しい学生生活を送らせてあげられるかを考え実行する。この事がPTA活動だと思います。決して学校や、先生に対して文句を言う組織ではないことを認識してほしいと思います。

子供たちに何をしてあげられるかを考え、どうしたら、勉強しやすい環境を作ってあげられるかを先生と共に考えるのが真のPTA活動だと思います。緑陵高校にはPTAの伝統があります。その伝統を守りながら、新しい事を考える。そのためには会員の皆様が積極的にPTA事業に参加して、会員相互の親睦をはかり学校の様子や子供の様子を知ることが大切かと思えます。PTAに協力するという事は第一に参加する事です。

最後に、今年度子供たちのために、役員の方々、先生、また会員の皆様の協力を得ながら活動を進めて参りたいと思っておりますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

る術を身につけていくのでしょうか。
こうして、これから一つずつ行事を積み重ね、
クラスとしてのまとまりや他人への気遣いを学び、
徐々に緑陵生らしくなってくることを期待してい
ます。

宿泊研修での講話の中で、教務部長の宮路先生
から、「緑陵高校の先生を信頼してください」とい
う言葉がありました。その生徒の信頼に応えるべ
く、我々一学年団は、若さと情熱をもって、どの
学校にも負けない教育を行いたいと思っています。
本校はスタッフや学習環境ともに優れた学校だ
と感じております。保護者の皆様には三年間、本
校を信頼していただいて、お子様をお預けいた
けますようよろしくお願い申し上げます。

宿泊研修を終えて

一年C組 瀧澤 光

今回の宿泊研修で、私は授業の大切さ、大学入
試の大まかな内容、学校祭のことについて知るこ
とができた。

ベネッセコーポレーションの講演会で、センター入
試は教科書の内容がほぼ十割で出題されると言わ
れた。だから毎日の授業が受験勉強につながって
いることがわかった。私は大学へ進学することが目標
なので、これからの授業をコツコツ受けていきたい。

棚田先生の講話では学校祭のことについて聞いて
いた。姉から聞いて想像していたものとは大きくか
け離れていた。中学校の頃の学校祭とは違い、か
なり本格的なものだった。そして準備期間中に
「クラスのためにできることは何か」、これを考え
られるかどうかで良い学校祭になるか決まるとい
う結論に至った。それに学校祭は楽しむ行事であ
るということも再認識した。すなわち、クラス全

員が恥ずかしがらず馬鹿になることで盛り上がる
学校祭になる。これを踏まえて、この後にある学
校祭に取り組んでいきたい。



一年D組 岸本 茉凛

私は宿泊研修で得たもの、知ったことがたくさ
んあります。

一つはクラスメイトのことです。この人は静か
そうに見えるけど、
本当はテンションの
高いおもしろい人な
んだな、とかです。
私は人見知りなので
友達になれるかな、
と思いました。みん
なと友達になれそう
でうれしかったです。

二つめは講話です。
最初はなんで、勉強
のしかたや、人間関
係などの講話を別に
受けなくてもいいの
に、なんて思ってい
ましたが、講話はどれも自分のためになるものば
かりで受けてよかったなと思いました。学校祭の
ビデオは感動して涙が出そうになりました。



レクレーションでは、D組はどれも微妙な結果
でしたが、それまでのがんばりや、大声で円陣を
組んだこと、とびあがって喜んだことがとても楽
しかったので結果オーライです。宿研で得た経
験や知識は、どれも今後の学校生活を良くするた
めの、良いきっかけとなりました。先生方、クラ
スのみんな、他にもたくさんお世話になった方々、
本当にありがとうございます。

新たな緑陵高校のスタート

生徒会長 三年C組 佐藤 修也

四月八日に新入生二三八名を迎え、全校生徒合計
六九九名となり、新たな緑陵高校がスタートしまし
た。四月十一日には対面式そして部活動紹介が行わ
れ、二、三年生で新入生を祝福しました。対面式では
例年のように先輩達の挨拶に戸惑う新入生の姿は
とても初々しく感じました。また部活動紹介では、
各部活動の実演やダンスによるパフォーマンスを
真剣に見て、自分の加入したい部活動を探している
姿が見られ、企画、運営をして良かったと思えました。

次に、四月十四日、十五日に砂川少年自然の家で
リーダー研修会を行いました。今年のリーダー研修
会は、ホームルーム長・副ルーム長がクラスでリー
ダーシップを取っていくためにはどうするべきか
という事や、各常任委員会の前期の活動について、
そして七月に行われる学校祭について話し合いま
した。また、今年から、新入生に、学校行事や学校祭
について二、三年生からアドバイスをする時間を設
けました。研修会は三回に分けて行われ、各研修会
とも真剣な話し合いが行われました。研修会以外
にも、全校のリーダー達が親睦を深めるために一日
目の夜に体育館でレクリエーションを行いました。簡
単なゲームを通して学年関係なく交流できたことで
次の日の研修がより良いものになりました。今回の
リーダー研修会で参加者がリーダーとしての自覚を
持ち、今後の学校を引っ張っていくと共に、学校最
大の行事である学校祭に向けて全員の意思統一を
したことで成功させることが出来ればと思います。
この後、高体連が終わり、前期中間考査が終わる
と、いよいよ学校祭準備期間に入ります。全校生
徒の心に残るような学校祭になるよう生徒会長と
して全校生徒を引っ張っていきたいと思います。

新任者紹介

- ① 担当教科 ② 部顧問 ③ 前任校
④ 緑陵高校の印象 ⑤ ひとこと



校長 南 和孝

- ③ 美幌高校
④ 立派な学校だなと思いました。
⑤ 生徒のために、教職員と共に、がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。



教頭 尾形 雅史

- ③ 芽室高校
④ 自然に囲まれた、絶好の環境の中で、勉学に励むことが出来るといふ事はとても素晴らしい事だと思ひます。また、生徒の皆さんの素敵な態度も印象的でした。
⑤ 市立高校の生徒として誇りと自信を持って、多方面で活躍してください。その為の一助を惜しみません。共に羽ばたきましょう。



教諭 金子 昌枝

- ① 家庭科 ② 吹奏楽部 ③ 北広島高校
④ 挨拶・けじめがしっかりしていて明るく爽やかな生徒が多いと感じています。
⑤ 生徒の皆さんの「今」と「未来」を一緒に考えたいと思います。宜しくお願ひします。



教諭 田畑 暢之

- ① 保健体育 ② バドミントン部 ③ 札幌東陵高校
④ 緑に囲まれた環境の中で、生徒は全力投球している印象。
⑤ 多くを学び、沢山感じ、力強く動くこと。



教諭 橋本 剛彦

- ① 地歴公民 ② バスケットボール部
③ 北見緑陵高校
④ 生徒のみなさんの表情も明るく、さわやかな挨拶が気持ちいい。学校全体の雰囲気「勢い」を感じます。
⑤ みなさんや先生方と一緒に学習・部活・行事に全力投球していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



教諭 土永 敬子

- ① 国語 ② 吹奏楽部・写真部 ③ 札幌白陵高校
④ 活気があり、礼儀正しい素晴らしい学校。
⑤ 皆さんの楽しい高校生活の一助となれるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



教諭 竹本加代子

- ① 商業 ② ソフトテニス部 ③ 中川商業高校
④ 勉強と部活動を両立しているすごい学校だと思います。
⑤ 様々な場面で少しでも力になれるよう努力します。これからよろしくお願ひします。



講師 石山 和弥

- ① 商業 ② 簿記部 ③ 美唄高校
④ 学業だけでなく部活動も盛んで、行事がすごく盛り上がるので聞いてるので楽しみです。
⑤ 私も一生懸命に生徒の皆さんを支援したいと考えておりますので、皆さんも緑陵生という自覚をもって楽しい高校生活を送ってほしいです。これからよろしくお願ひします。